

「燃料デブリの性状把握に関する研究と人材育成カンファレンス (ConFDeC2017)」
実施計画書

1. 開催期日：2017年9月5日(火)～6日(水)
2. 場所：富岡文化交流センター「学びの森」会議室、研修室
(福島県双葉郡富岡町大字本岡字大塚 622-1)

檜葉サイクリングターミナル 展望の宿「天神」研修室
(福島県双葉郡檜葉町大字北田字上ノ原 27-29)
3. 目的：原子力機構は、福島第一原子力発電所の廃炉工程に必要な燃料デブリの性状把握や取扱い方法の検討を進めているが、これらは核燃料や材料等の研究者が協力して取り組む必要があり、中長期的な廃炉研究を支える若手研究者確保と基礎基盤研究を通じた人材育成が必須である。一方、福井大学は、文部科学省からの廃止措置人材育成公募を受託し、若手研究者の育成を行っており、国際廃炉研究開発機構や廃炉国際共同研究センター (CLADS) との連携が強く指摘されている。この受託研究は CLADS「福島リサーチカンファレンス (FRC)」の目的「廃炉研究に関心を持つ若手研究者及び学生の裾野を広げる」と合致するため、福井大学と原子力機構が連携して本カンファレンスを共同で開催し、国内外専門家の講演と若手研究者らによる議論の場を設け、人材育成の一助とする。
4. プログラム案：別紙1のとおり。
基調講演については公開とする。なお、グループ討議については、専門性の高い内容であり、学生等が闊達な議論ができるよう非公開で行う。
5. 参加予定者：約40名
JAEA 及び福井大学を中心とした文部科学省公募事業関連各大学からの参加者 (37名、別紙2参照) の他、ホームページに掲載し、一般参加者を募る。
6. 使用言語：英語

以上

「燃料デブリの性状把握に関する研究と人材育成カンファレンス」
(ConFDeC 2017)

プログラム (暫定版)

1 日目: 9月5日 富岡文化交流センター「学びの森」 会議室 1,2 および研修室 1,2,3

08:30-09:40 バス移動: いわき駅前より富岡文化交流センター「学びの森」へ移動

09:50-10:00 開会挨拶

10:00-12:00 基調講演 1: 福島第一原子力発電所の廃炉、及び燃料デブリ研究の現状

- 福島第一原子力発電所の現状と燃料デブリ取出しの技術課題 (仮)

奥住直明 (IRID)

- 海外研究機関における燃料デブリ研究の傾向 (仮)

D. Bottomley (JAEA/CLADS)

- シビアアクシデント時の燃料破損現象 -BWR 燃料に関する最近の知見を
中心とした- (仮)

倉田正輝(JAEA/CLADS)

12:00-13:00 昼食

13:00-14:00 基調講演 2: 若手研究者による燃料デブリ研究報告

- 制御棒とチャンネルボックスの反応基礎試験 (仮)

Pham Hai (JAEA/CLADS)

- (タイトル調整中)

中森 文博 (大阪大)

14:00-15:00 1F 廃炉課題に関するグループ討議

15:00-15:30 休憩

15:30-17:00 1F 廃炉課題に関するグループ討議 (つづき)

17:10-17:30 バス移動: 富岡文化交流センター「学びの森」より檜葉サイクリングターミナル展望の宿 天神へ移動

18:30-20:00 懇親会

2日目： 9月6日 檜葉サイクリングターミナル展望の宿 天神

08:30-10:00 グループ討議結果の発表

10:00-10:30 バス移動：檜葉サイクリングターミナルから檜葉遠隔技術開発センター

10:30-12:00 檜葉遠隔技術開発センターの視察

12:00-13:00 バス移動：檜葉サイクリングターミナルからいわき駅へ。

以上